

令和4年2月22日 (令和4(2022)年度第37号)



全国保育士会委員ニュース

本ニュースは、全国保育士会委員、顧問、監事、都道府県・指定都市保育士会事務局に送付しています。

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国保育士会事務局

〒100-8980

千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-6503

FAX 03-3581-6509

Mail hoikushikai@shakyo.or.jp

<https://www.z-hoikushikai.com>

<ニュースの内容>

- 令和4年度 第2回委員総会を開催～令和5年度事業計画、予算を決定～
- 令和4年度 都道府県・指定都市正副会長セミナーを開催
- 事務連絡「保育所等における新型コロナウイルスへの対応にかかるQ&Aについて(第二十報)」が発出される(厚生労働省)

■ 令和4年度 第2回委員総会を開催

～令和5年度事業計画、予算を決定～

令和5年2月16日、令和4年度第2回委員総会を全社協議会議室で開催しました。コロナ禍においてはWEBでの開催が続いておりましたが、倫理綱領の唱和は出席者は発声を行わない等、感染対策に配慮をして3年ぶりに参集で開催することができました。

総会では、全国保育士会 村松 幹子 会長、全国保育協議会 奥村 尚三 会長、全国社会福祉協議会 金井 正人 常務理事、厚生労働省子ども家庭局保育課 本後 健 課長のあいさつの後、令和4年度事業進捗状況および決算見込みについて報告を行いました。報告に引き続き、令和5年度事業計画案および予算案を審議し、全会一致で原案どおり承認されました。

令和5年度は「こども家庭庁」が創設されるとともに、令和6年4月の改正児童福祉法の施行に向けた準備が進められるほか、首相の指示により子ども関連予算の増額の検討が行われる等、子ども子育て家庭をとりまく環境が大きく変動することが予想されます。本会の令和5年度事業計画では、こうした動向も踏まえた取り組みや、保育士会組織の強化に関する検討と対応を進めていくこととしています。



あいさつをする村松会長



倫理綱領唱和の様子

令和 5 年度 全国保育士会 事業計画(抜粋)

～子どもの^{いま}現在と^{あす}未来を支える保育の実現～

【保育士会事業の大きな柱】

1. 子どもが豊かに育つ質の高い保育の実現
2. 専門性の発揮できる環境構築
3. 乳幼児教育への理解促進
4. スカンポ募金による保育士等支援

【重点事業の概要】

1. 社会の変化に対応した保育内容の実践

- わが国では、少子高齢化の急速な進展による人口減少や、核家族化や就業形態の変化等により、保育を取り巻く環境も大きく変化している。このような状況においても「子どもの最善の利益」を保障し続けるため、「保育所保育指針」に立ち返り、子どもの育ちに最適な保育内容に必要な要素等について特別委員会において「地域支援事業に向けた取り組み」と一体的に検討・整理を行う。

2. 地域支援事業に向けた取り組み

- 令和 6 年 4 月施行の改正児童福祉法も踏まえ、保育所・認定こども園が地域の子ども・子育て家庭支援の中核的な役割をこれまで以上に発揮すべく、保育者の専門性の観点から具体的に考えられる地域支援の内容や、多職種・多機関との連携も含めた取り組みの展開にあたって必要となる体制等について検討・整理を行う。具体的には、特別委員会において「社会の変化に対応した保育内容」と一体的に検討し、地域生活課題の解決に向けた取り組みを推進する。
- 地域支援の取り組みをより効果的に進めるにあたり、保育士・保育教諭等に必要なソーシャルワークの基礎的な知識・技術等について検討・整理を行う。

3. 保育士会組織の強化と支援体制の強化

- 「都道府県・指定都市保育士会組織に関する調査」(令和 3 年度)の結果と分析および令和 4 年度における検討を踏まえ、各県・市組織の課題対応や強化のための取り組みを実施し、全国保育士会の組織力の強化につなげる。また、各ブロックや各県・市組織、各園の取り組みや課題を共有するとともに、全国保育士会の取り組みについて周知する。
- 会員増に向けて、会員対象事業の実施とともに、会員名簿の更新や「保育士会だより」等の情報発信の強化等による全国保育士会の取り組み周知を通じて、会員の帰属意識のさらなる向上を図る。

4. 保育の専門性の発信

- 保育所保育指針に基づき保育士・保育教諭等が発揮している専門性や、社会の変化への対応に必要な要素等について、保育関係者はもとより、行政や地域社会に広く発信する。
- 保育現場から保育の専門性や保育の魅力、やりがいを発信するとともに、保育士・保育教諭等の仕事について、正しく理解できるような情報提供を行っていく。(インナーモチベーションの向上、広く社会への発信・周知)
- 保育の専門性や保育の魅力、やりがいを動画作成および配信を通じて発信し、新規会員加入の促進につなげる。

令和 5 年度事業計画の詳細は、事前に送付している令和 4 年度第 2 回全国保育士会委員総会資料をご参照ください(令和 5 年度事業計画は全国保育士会ホームページにも追って掲載します)。

■ 全国保育士会ホームページ

<https://www.z-hoikushikai.com/about/donnna/index.html>

■ 令和 4 年度 都道府県・指定都市正副会長セミナーを開催

令和 5 年 2 月 15 日(水)～16 日(木)に、「令和 4 年度 都道府県・指定都市保育士会正副会長セミナー」を開催しました。コロナ禍においては WEB での開催が続いておりましたが、正副会長セミナーについても 3 年ぶりに参集で開催することができました。

本セミナーは、都道府県・指定都市保育士会正副会長等役員が、保育に関する国の制度動向や全国保育士会の取り組みについて理解を深めるとともに、講義やグループ討議を通して現状や課題を共有し、保育士会組織の充実強化に寄与することを目的として開催しました。

1 日目は、全国保育士会 伊藤 裕子 総務部長の開会あいさつの後、村松 幹子 会長から、「全国保育士会の今後の取り組みについて」と題して基調報告を行いました。その後、行政説明として、こども家庭庁設立準備室 山口 正行 内閣参事官より、「こども家庭庁の設立とこども基本法の制定について」、厚生労働省 子ども家庭局 本後 健 保育課長より、「子ども・子育て支援の施策動向」についてご説明いただきました。

講義 I では、「保育人材の確保・育成・定着に向けた取り組み」について、常葉大学 講師 伊藤 理絵 氏に講義していただきました。保育学生(実習生)とのかかわりを踏まえてお話いただき、保育士養成校と連携した保育実習指導の重要性等について理解を深めました。

2日目は、中村学園大学 教授 那須 信樹 氏から、昨今の保育を取り巻く状況や、本会の「社会の変化に対応した保育内容等に関する特別委員会」の検討状況を踏まえて、今後の保育所・認定こども園等に求められる役割等についてご説明いただいた後、グループワークを実施しました。

グループワークでは、保育所保育指針における乳児保育の3つの視点、1歳以上3歳未満児保育の5領域、3歳以上児保育の5領域の計13領域・視点を各グループが担当し、保育所保育指針のねらい等と照らし合わせ、保育現場の課題や課題の解消に必要な要素について検討しました。

各グループでの討議内容については、特別委員会の「中間のとりまとめ」に反映し、今後公表することを予定しています。

プログラムの終了にあたり講師の那須氏より、グループワークで行った保育現場の状況の振り返りについて、各園でも園内研修等で取り組んでみて欲しいとの総括がありました。



講義 I 伊藤 理絵 氏



グループワークの様子



講義 II 那須 信樹 氏

【プログラム】

1日目 (2月15日 (水))

| 時間 | 内容 |
|-------------|--|
| 13:00~13:15 | 【開会あいさつ】 全国保育士会 総務部長 伊藤 裕子 【「全国保育士会倫理綱領」「食育推進ビジョン」唱和】 全国保育士会 総務部副部長 佐藤 健章 【「私たちがいるんです」斉唱】 |
| 13:15~14:00 | 【基調報告】 「全国保育士会の今後の取り組みについて」 報告者：全国保育士会 会長 村松 幹子 |
| 14:15~15:45 | 【行政説明】 「こども家庭庁の設立とこども基本法の制定について」 講師：内閣官房 こども家庭庁設立準備室 内閣参事官 山口 正行 氏 「子ども・子育て支援の施策動向」 講師：厚生労働省 子ども家庭局 保育課長 本後 健 氏 |

| | |
|-------------|--|
| 16:00～17:30 | 【講義Ⅰ】 「保育人材の確保・育成・定着に向けた取り組み」 講師：常葉大学 講師 伊藤 理絵 氏 |
|-------------|--|

2 日目 (2 月 16 日 (木))

| 時 間 | 内 容 |
|-------------|---|
| 9:00～12:00 | 【講義Ⅱ】 「子どもたちの育ちを保障し続けるための保育の実現に向けて ～保育専門職としての自律性を拠り所として～」 講師：中村学園大学 教授 那須 信樹 氏 |
| 13:25～13:55 | 【まとめ・閉会あいさつ】 全国保育士会 副会長 北野 久美 |

■ 事務連絡「保育所等における新型コロナウイルスへの対応にかかる Q&A について(第二十報)」が発出される(厚生労働省)

令和 5 年 2 月 17 日、新型コロナウイルス感染症の対応に関する標記事務連絡が発出されました。これは、本ニュース第 36 号でお伝えした「マスク着用の考え方の見直し等について」(事務連絡/令和 5 年 2 月 10 日新型コロナウイルス感染症対策本部決定)の発出を受けて、厚生労働省子ども家庭局保育課として追記を行うなどの修正を行い発出したものです。

【子どもおよび保育士がマスクを着用する場合の注意点】

Q&A の問 18 では、2 月 10 日に発出された事務連絡を受けて、令和 5 年 3 月 13 日以降の保育所等におけるマスクの取り扱いについて下記のとおり示されています。

| | |
|---|------------|
| 〔保育所等における子どものマスクの取扱いについて〕 | (事務局抜粋・要約) |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 2 歳未満児のマスク着用は奨めない。 ○ 2 歳以上児のマスク着用は求めない。 ○ あわせて、基礎疾患がある等の様々な事情により、感染不安を抱き、引き続きマスクを外すよう周囲が強いることのないよう適切に配慮するとともに、引き続き換気の確保等の必要な対策を講じる。 | |

【保育所等における保育士等の職員や保護者の取扱いについて】

- 保育所等における保育士等の職員のマスク着用については、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることが基本。
- 2月10日の事務連絡の「(6) 事業者における対応」として、「マスクの着用は個人の判断に委ねられるものであるが、事業者が感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは許容される」としており、当該事項は保育所等の事業者にも適用される。

なお、2月10日の事務連絡のなかでは、「なお、感染が大きく拡大している場合には、一時的に場面に応じた適切なマスクの着用を広く呼びかけるなど、より強い感染対策を求めることがあり得る」としていますが、同時に「ただし、そのような場合においても、子どものマスクの着用については、健康面等への影響も懸念されており、引き続き、保護者や周りの大人が個々の子どもの体調に十分注意する必要がある」とされています。今回の示された Q&A では、これに関して、「仮に、保育所等においてもより強い感染対策を求めることとなった場合には、別途留意すべき事項をお示ししたい」としています。

【保育所等における卒園式の取扱い】

本ニュース第 36 号でお伝えしているとおり、2月10日には、文部科学省より、主として小学校以上の卒業式におけるマスクの取り扱いとして、「卒業式におけるマスクの取り扱いに関する基本的な考え方」が示されました。

Q&A の問 18-2 では、本事務連絡に関連し、保育所等におけるマスクの着用の考え方の見直し適用される令和 5 年 3 月 13 日を起点とし、保育所等の卒園式を開催する場合の対応が示されています。

【3月13日より前に卒園式を開催する場合】

(事務局抜粋・編集)

- 子どもについては、これまでもマスク着用を一律に求めないとしてきたところですが、地域の感染状況等を踏まえ、必要に応じて文科通知で示されている取扱いを参照ください。なお、これは、マスクを外すことを基本とする取扱いを参照するという趣旨であり、文科通知別紙「6 国歌・校歌等の斉唱・合唱等」の取扱いに従い保育所等で合唱等を行う場合において子どもにマスク着用を求めるという趣旨のものではありません。
- 保育士等の職員や来賓、保護者等のマスク着用等についても文科通知で示されている取扱いに準じることとするようお願いいたします。

【3月13日以降に卒園式を開催する場合】

- 問 18 の見直し後の考え方に基づき開催いただくようお願いいたします。なお、事業者の判断により、上記の 3 月 13 日より前に卒園式を開催する場合の取扱いと同様に、
 - 子ども、保育士等の職員に対して、マスクを外すことを基本とすること

- マスク見直し本部決定の「(6) 事業者における対応」として、事業者が来賓、保護者等に対してのマスクの着用を求めるとともに、着席を基本とし、座席間に触れ合わない程度の距離を確保することや、その上で、感染対策上での、来賓や保護者等の参加人数の制限は必要ないこととして、開催いただくことも可能です。

詳細は、下記ホームページをご参照ください。

■厚生労働省ホームページ

ホーム > 政策について > 分野別の政策一覧 > 子ども・子育て > 子ども・子育て支援 > 保育関係 > 保育所等における新型コロナウイルス対応関連情報

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_09762.html